

定期的な検診で、 万ーのリスクに備えましょう

がんの治療法は、がんの部位や進行度などによってさまざまです。進行がんの5年間の費用総額は、早期がんより100万円以上高額になる傾向があります。早期発見は、身体だけでなく経済的な負担も軽くします。

がんになった場合にかかる 費用の目安

公的医療保険制度 対象の治療費

入院や手術・抗がん剤
治療等にかかる費用※2

公的医療保険制度 対象外の治療費

差額ベッド代と食事代
(標準負担額)にかかる費用

治療費以外の費用

入院準備や医療用
ウィッグ等の費用

ステージⅠ・Ⅱ の場合 (比較的進行度が低いがん)	約 378 万円 =	約 151 万円	+	約 54 万円	+	約 173 万円
ステージⅢ・Ⅳ の場合 (比較的進行度が高いがん)	約 491 万円 =	約 220 万円	+	約 97 万円	+	

※2 がん罹患後に発生した医療費の総額を基に、自己負担割合3割として計算(高額療養費制度適用後の金額)

治療費以外の費用の内訳(5年間総額)

交通費・ 外食費用



通院や家族のお見舞い
に必要な交通費・外食費

平均 約**29**万円

身体の変化により 必要な費用



治療で髪が抜けた場合の医療用
ウィッグ購入費・メンテナンス費等

平均 約**50**万円

家事・育児 代行費用



病気や看病による家事・
育児代行費

平均 約**79**万円

入院準備 費用



入院時のパジャマやスリッパ
等の衣料品の購入費等

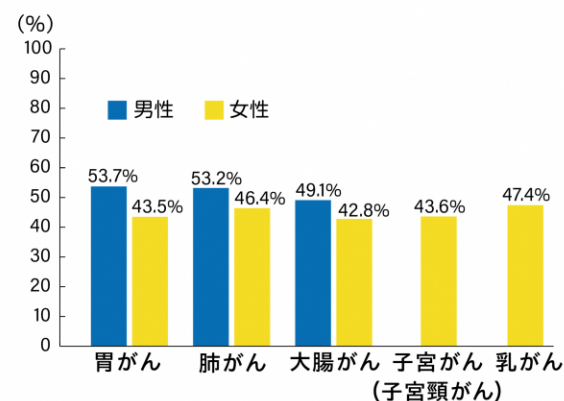
平均 約**14**万円

出典：日本生命「NISSAYデータブック2025」P.9より作成

まだまだ低い日本の検診受診率

早期発見のカギは検診ですが、日本の受診率は
まだ50%前後です。ご自身の健康と安心な生活
を守る手段として、ぜひ検診を受診してください。

〈がん検診の受診率(2022年実績)〉



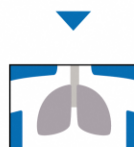
出典：厚生労働省「2022(令和4)年国民生活基礎調査の概況」

肺がん検診の流れ



① 病院に予約する

医療機関で予約を取り、受診してください。
40歳以降は、年に1回の定期受診を心がけましょう。



② 検診

胸のX線撮影を行います。胸部全体を写すため、
撮影時には大きく息を吸い込み、しばらく息を
止めて撮影します。



③ 検診結果

「要精密検査」の判定が出たら、放置せず一日でも早く
医療機関を受診しましょう。

検診結果
正常

(2026~2036, 安心の多面体企画部)

今こそ 禁煙 チャレンジ!

禁煙や検診は、あなただけでなく、大切な家族の安心に直結します。

この機会に、あなたの未来を守るための
第一歩を踏み出しましょう。



こんな症状は
ありませんか?

咳

たん

息苦しさ

胸の痛み

忙しい毎日、自分のことは後回しになっていませんか?

健やかな毎日は、あなたの身体があってこそ。支えてくれている身体の目に見えない「声」を聞く
ために、定期的なチェックを始めましょう。

監修：公益財団法人 日本生命済生会 日本生命病院 院長：立花 功

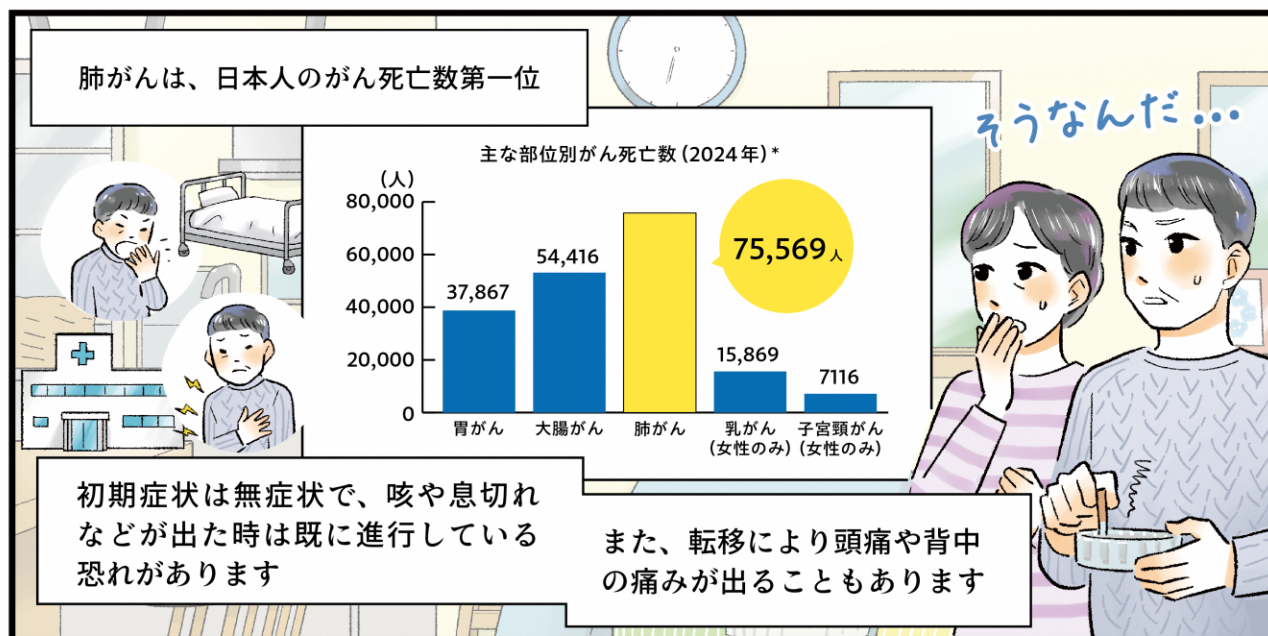


日本生命保険相互会社



その症状、実は肺がんかも…？

「最近、ちょっとしたことで息が切れる」「なんだか咳が続く、痰が絡む…」。
そんな身体の異変を、「歳のせい」「ただの風邪」と軽く考えていませんか？
その油断が、命に関わる重大な見落としにつながるかもしれません。



* 出典:国立がん研究センター「最新がん統計」より作成

禁煙と年に1回の肺がん検診を受けましょう！

禁煙は「あなた」と「あなたの家族」を守ります



健康だけじゃない！

禁煙のメリット

- ◆禁煙には、健康面だけでなくさまざまなメリットがあります。例えば、1箱580円のたばこを1日1箱毎日吸った場合、**1年間で21万1,700円、5年間で105万8,500円が節約できます。**
- ◆経済的負担の他にも、たばこを吸う時間の節約、肌や歯などの美容面、臭い防止などのメリットもあります。



喫煙者の肺がんリスクは

男性4.5倍、女性4.2倍！

- ◆たばこを吸わない人と比較して、**吸う人が肺がんになるリスクは男性で4.5倍、女性で4.2倍**にもなることが分かっています。
- ◆これは、大気汚染などの環境要因よりずっと高い数値です。**たばこは、肺の細胞を直接的に傷つけ、がんのリスクを劇的に高めます。**リスクが高いからこそ、禁煙の効果も絶大です。

他にもこんな病気のリスクが…

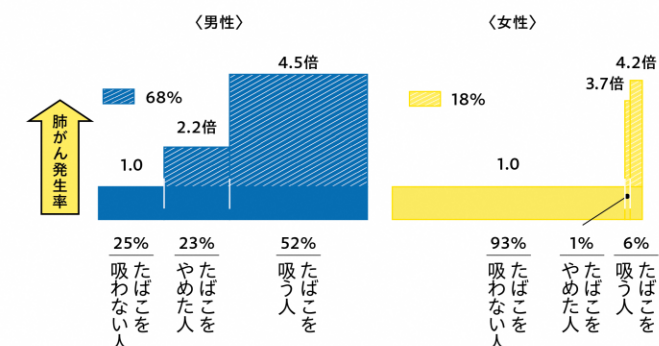
食道や胃などのがんをはじめ、心筋梗塞、脳卒中、COPD(慢性閉塞性肺疾患)、糖尿病など、喫煙は全身の病気の原因になります。

たばこの煙は、本人だけでなく、受動喫煙によってご家族の健康も脅かします。禁煙は、あなた自身の命を守ると同時に、大切なご家族をがんから遠ざける大切な取り組みです。

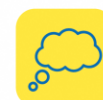


1箱580円のたばこを1日1箱/1本5分毎日吸った場合

肺がん発生率とたばことの関係について



出典:国立がん研究センターがん対策研究所 <https://epi.ncc.go.jp/jphc/outcome/254.html>



受動喫煙が原因で

日本では約1万5,000人^{※1}が死亡しています

赤ちゃん・子どもに与える影響

- ◆ニコチンの作用でへその緒や胎児の血管が収縮し、**十分な酸素や栄養の供給が低下**します。
- ◆出生後もさまざまな病気にかかりやすくなるほか、大人になってからも生活習慣病のリスクが増大します。



妊娠中のリスク

- 早産
- 低出生児
- 自然流産

出生後のリスク

- 乳幼児突然死症候群(SIDS)
- ぜんそく、アレルギーのリスク
- かぜ、肺炎にかかりやすくなる
- たばこ誤飲の可能性

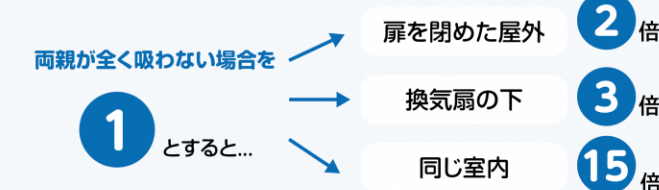
ベランダでなら大丈夫？

◆換気扇の下やベランダでの喫煙でも、受動喫煙は防げません。

◆直接たばこの煙を吸い込まなくても、喫煙者の服や髪に付着した有害物質を吸い込む三次被害(サードHANDSモーク)というリスクもあります。



子どもの体内に入るニコチン



出典:Johansson A et.al: Pediatrics 113:e291- 295,2004.

※1 受動喫煙との関連が「確実」と判定された肺がん、虚血性心疾患、脳卒中、乳幼児突然死症候群(SIDS)の4疾患について、超過死亡数を推定した結果